



パリの「ジャック・ルコック国際演劇学校」を卒業した、身体表現と演劇のプロフェッショナル集団『アユリテアトル』第2回日本公演

国際フィジカルシアター Ahuri Theatre

「藪の中 ~ Distruthted (ゆがみ) ~」

原作:芥川龍之介



2008年4月3日(木)~6日(日) 全6公演 <劇場:シアタートラム>

後援:カナダ大使館

世界の演劇界に大きな影響を与えているパリの「ジャック・ルコック国際演劇学校」を卒業した、日本・カナダ・スウェーデン・フランスの4カ国から集まった6人により結成された国際フィジカルシアター『アユリテアトル』。

昨年2007年6月~7月にカナダ(モントリオール/トロント)で開催されたフリンジフェスティバルにて、地元メディアにも多数取り上げられ高い評価を受けた「藪の中~Distruthted(ゆがみ)~」(原作:芥川龍之介)が、遂に日本・シアタートラムにて凱旋公演されます。

本作品は、芥川龍之介の短編小説『藪の中』を題材にした、アユリテアトル独自の創作作品です。

「人生における現実とは客観的な世界を指すのか、それとも主観的な世界なのか。真実とはただ一つでありながらも、無数に存在する…」

この考えを基に、人間の道徳性の更に奥深くに存在する「闇」に焦点を当てていきます。

日本語、英語、フランス語、スウェーデン語の4ヶ国語によって上演される、今までにない革新的な創造演劇の世界に皆様をお招きします。

あらすじ

一体の死骸 恐ろしい犯罪 三人の容疑者 皆が犯人で皆が潔白...

藪の中で見つけられた一体の男の死骸。その事件の目撃者7人がそれぞれの証言を始める。

7人の言葉は完全にずれているわけではないものの、いくつかの矛盾がある。

木こり 僧侶 警察官 老婆 殺人の容疑をかけられている盗人 被害にあった女 それとも殺人にあった男……

誰が嘘をつき、誰が真実を言っているのだろうか…?

公演概要

主催団体:アユリテアトル Ahuri Theatre

公演名:「藪の中 ~ Distruthted(ゆがみ)~」

日時:2008年4月3日(木)19:00~

4日(金)19:00~

5日(土)14:00~、18:00~

6日(日)14:00~、18:00~ (全6公演)

場所:シアタートラム 東京都世田谷区太子堂4-1-1 03-5432-1526

チケット取扱い:アユリテアトル 090-9963-6464 (<http://www.ahuritheatre.com>)

劇場チケットセンター 03-5432-1515 (<http://setagaya-pt.jp>)

前売開始日:2008年3月1日(土)

【原作】 芥川龍之介 「藪の中」 【演出・構成】 マチュー・シュイナール 【演出助手】 近藤春菜

【出演者】 マチュー・シュイナール、近藤春菜、エドウィジ・バージ、ダン・ワトソン、ヨハン・ウェスタグレン

【舞台監督】 伊東龍彦 【照明】 マルゴット・オリポー

お問合せ

アユリテアトル 近藤・竹野 090-9963-6464 (<http://www.ahuritheatre.com>)



FRINGE フェスティバル 2007 上演時の評論抜粋

* Very interesting performance. Most of all, the movement of these well trained actors is fantastic. The theatre, audience, everything unites to create a completely different world never before experienced. Beyond the barriers of country and race, Ahuri Theatre creates movement that carries with it a necessary message to the world today and leaves a strong energy and impression on the audience. (Michiyo Koyanagi, The Nikka Times)

非常に面白いパフォーマンス。とりわけ訓練された役者の動きは素晴らしい。劇場、観衆、すべては今まで経験したことの無い、完全に異なる世界と一体になる。アユリテアトルは、人種と地域を越えて今日に必要なメッセージを世界へ運び、強いエネルギーと印象を観衆に残していく。

* "Brilliant... The performers commit physically and emotionally to their roles, and the minimal set and unusual space are used to maximum effect. Highly recommended." (Glenn Sumi, Now Magazine)

お見事！役者達は、身体的にも感情的にも役になりきり、そして最小限に抑えたセットで最大限の効果を得た。非常にお勧めの作品だ。

* "Ahuri theatre's five wonderful actors amaze by their capacity for creating rich atmospheres " (Fabienne Cabado, Le Voir)

アユリテアトルのすばらしい5人の役者たちは、充実した雰囲気創りを可能にしたそのキャパシティーの大きさを観客を魅了してくれる。

* "Impressive physical theatre makes Distruthted extremely effecive" (www.indyish.com)

この印象深い身体演劇の在り方は、“ゆがみ”をより効果的に表現した。

* "With regard to the upcoming performances in Japan, this work, in which artists of carious nationalities unite to present a Japanese literary masterpiece, is certain to contribute toward future international exchange." (在トロント日本総領事)

様々な国籍のアーティストが、日本文学の傑作を発表、上演しようと思い団結したこの公演が、国際交流の未来に多大なる貢献をすることは確かな事です。

アユリテアトル/Ahuri Theatre

『アユリテアトル』は文化探求と国際交流をベースに舞台制作、公演活動をするインターナショナルな芸術劇団です。

フランス、カナダ、スウェーデン、日本から集まった6人のメンバーにより構成され、全員が世界の演劇界に大きな影響を与えているパリの「ジャック・ルコック国際演劇学校」の卒業生であり、自国はもとより各国の演劇祭などでも活躍しています。

『アユリテアトル』は、観客の心を揺さぶり動かしていく“Movement(身体から生まれる詩)”こそが、人種や文化、年齢を超えて国をつなげる最も本質的な要素だという信念の基に活動をしています。

心の底から湧き出る気持ちや感情、素直な体の動きが全て一体となり、身体の“詩”となって心を伝えます。

「心」からのメッセージを皆で共有することにより、共に笑い、人々の理解と友情、幸せを世界に広げること。

それが『アユリテアトル』の精神です。

【活動実績】

2005年 日本ツアー公演「アユリ ショーケース」実施

2006年 イブセン没後100周年記念作品『パールギュント』上演(後援:ノルウェー大使館)

2007年 フリンジ演劇祭にて「藪の中」上演 @カナダ(モントリオール/トロント)

その他、日本、カナダにてワークショップ(計5回)を行う。

[ジャック・ルコック国際演劇学校]

...世界の演劇界に多大な影響を与えるパリにある演劇学校。

ジャック・ルコック国際演劇学校が世界の演劇界で注目されてきた理由は、言葉を中心とした西洋の演劇伝統に対し、「心」「ヒューマニティー(人間性)」、その表れとしての自然な身体のムーブメント(身体から生まれる詩)を表現の根本としていることにある。

<卒業後、世界で活躍している主な人々>

テアトル・ド・ソレイユ(フランス・太陽劇団)...今世界で最も注目されている演劇集団。

シルク・ド・ソレイユ(カナダ)...全世界でツアーを行う、世界的サーカス集団。

テアトル・ド・コンプリシテ(イギリス)...演劇界に大きな変革をもたらしたフィジカルシアター劇団。

劇団代表は、サイモン・マクバーニー。

ジュリー・ティモア(舞台・映画監督)...ミュージカル「ライオンキング」や映画にルコックメソッドを取り入れ、世界的に注目されている。